

平成22年度 森プロ事業実績：王子森プロ

(平成23年3月末現在)

		H22年度			備考	5カ年 計画
		計画	実績	達成率		
集約化(ha)		574	550	96%		721
作業道(m)		2,900	0	0%	作業路含む	19,500
間伐等	面積(ha)	13	1	9%	利用+切捨	186
	材積(m3)	620	23	4%		10,700
備考						

H22年度利用間伐等における所有者への還元額(補助金含む) 1,654 円/m3

施業集約化の状況

地元3地区での事業説明会開催。

地元自治会での説明状況。



施業プランの活用状況

プラン書にて個別に説明し承諾を得ている。

施業プランナーの養成状況

・森林施業プランナー：1名(中濃森林組合兼務1名)

作業道開設状況

作業道開設予定地流域に水源地があり、地元自治会及び漁業協同組合への説明に時間を要し、本体着工が雪解け後の平成23年3月にずれ込み、支障木伐採作業のみを実施した。(作業道開設実績は0)契約工期は23年11月であるが、早期完成を目指している。



作業道開設状況



作業道支障木仕分状況

間伐実施等による水源涵養機能への影響調査のため、濁度計(岐阜県森林研究所の協力による)を設置し、濁度計測の予定。また別途水位の計測、林地保水力の計測(ポリマーシートの設置)等を計画している。



濁度計設置状況

その他

- 1 各種研修会に参加し、林業経営に必要な知識を習得する。
- 2 民・国協働による森林づくりについて協議

森プロの成果

災害に強い作業道開設を目指し、現地における踏査、路線設定(岐阜県林政部森林整備課技術支援担当の指導、関市板取事務所の参加あり)を、複数回実施した。
また、作業道開設にあつては、地域住民の理解、同意を得るべく、3地区の住民説明会を開催した。(当該山林には、関市が管理する上水道取水施設があり、3地区はこの取水施設を利用している地区である。なお取水施設に近接する作業道の開設については、同意が得られていない)
また、事業において河川の汚濁の点について、板取川上流漁業協同組合に対して事業説明を行った。

今後の課題

- ・森林整備を行うことの必要性、特に作業道(路)の開設の重要性を、地域住民及び森林所有者に理解してもらい、地域の集約化を推進していく体制の強化。
- ・作業路開設に係る、伐開幅の検討、検証
- ・路面排水、急傾斜地での作業道作設等、開設技術の向上、崩壊のない災害に強い作業道(路)開設を目指し、地域住民の同意を得る。(作業道見学会等の開催)